

2015年3月10日

展示会報告：「第25回中国華東輸出入商品交易会」について

愛知県上海産業情報センター
安田 龍

1 「中国華東輸出入商品交易会」

中国華東輸出入商品交易会（以下、華東交易会という。）は、中国商務部による支援のもと、華東エリアの上海市、江蘇省、浙江省、安徽省、福建省、江西省、山東省、南京市、寧波市の9つの省市人民政府が連携して主催している中国最大級の消費財の展示会になります。

出展対象は、ギフト、生活雑貨、ファッションなどの消費財全般で、出展に際して審査認証が行なわれているため、品質も良い商品が集まることでバイヤーからも高い評価を受けています。

今回の華東交易会の運営を務めている上海外経貿商務展覽有限公司によると、最近中国では平均年収の増加に伴い、ライフスタイルと価値観が変化しており、新製品・高品質の商品に対する要望は年々高まってきている。そのような中で、日本製品では、特にギフト、生活雑貨、家電製品、化粧品、日用品、食品等が人気が高いとのこと。

25回目となる今年は3月1日から5日までの5日間、上海新国際博覧センターで開催され、総面積は115,000平方メートルと過去最大、総ブース数は5,780ブースが出展し、約35,000人が来場しました。

2 「日本館・愛知県出展ブース」

今年の華東交易会の展示会場内には、海外展示エリアが設置され、日本以外には、韓国、香港、台湾、イラン、マレーシア、ネパール、コロンビアなどの国・地域がブース出展していました。

日本館は、日本でギフトショーを主催運営している実績のあるビジネスガイド社が運営しており、16企業7自治体・団体がブース出展しました。

日本館に出展している企業では、主に①工芸品（陶器、日本人形、茶筒、火鉢、おきあがりこぼし）、②日用品（体重計、キッチン用品、布団、ソファ、靴下、タオル、衣類、ストッキング、包丁、はさみ、お菓子、日本酒）、③美容用品（矯正下着、化粧品、サプリメント、コラーゲン）の3つのジャンルの商品が多く出品していました。

今回の華東交易会では、愛知県上海産業情報センターも、日本館の中に県内企業3社（ワタナベファーマック株式会社、株式会社MTG、興和株式会社）とと

もにブース出展しました。

ワタナベファーマック株式会社は、自社商品は厨房等で使用する食肉加工機械が中心ですが、今回は取扱商品の厨房で使用する滑りにくい靴と足腰が弱っている方がリハビリなどの際に使用する靴の2種類を展示PRしました。

株式会社MTGは、自社商品の微電流で美容効果のある美顔器の展示PRの場として活用しました。

また、興和株式会社は、中国ではマスク自体を付ける習慣があまりなく、商品の認知度もまだ低いため、自社の商品である3次元マスクの商品サンプルを中国人の来場者に向けて無料配布して、マスク自体を装着する普及啓発活動を行いました。

どの企業の商品もどこで買えるのか、いくらで売っているのかという質問が多くあり、PR効果は十分にあったのではないかと思います。

愛知県以外の自治体ブースでは、岐阜県は陶器、鉄瓶やタオル等、石川県は陶器等の工芸品、新潟県は包丁やはさみ、爪切りや茶筒等の鉄製品、群馬県は衣類や腰に巻くサポート用ベルト、こいのぼり人形、埼玉県は化粧品、日本人形、五月人形、羽子板、石けん等、それぞれ県内企業の商品を展示し、来場者にPRしていました。

昨年の華東交易会では、会場内に日本企業が点在しており日本としてのまとまりがない感じがありましたが、今年は日本館としてまとまって出展していたため、来場者にも日本ブランドの商品をPRする効果が高かったのではないかと思います。

上海産業情報センターでは、今後も中国における県内企業の販路開拓につながる展示会について、情報提供していきたいと思います。

【中国華東輸出入交易会の様子】



本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。